

一般質問

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

誰でも情報が得られる環境をつくれな

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 紙媒体に印刷情報として音声コード Uni-Voice (ユニボイス) を掲載することで音声として聞くことができる。視覚障がい者や高齢者など、誰にでもやさしい情報のバリアフリーに向けて、本市の通知文書などの印刷物に活用する考えは。

答 スマートフォンで無料ダウンロードでき、利用者の負担が少ないことから、視覚障害者活字読上げ装置に比べて汎用性が高い。すでに音声コードを取り入れている自治体もあることから、効果や課題を聴き取り、実用性を検証するなど、導入する方向で検討する。



ベンチのあるまちづくり

高山市議会公明党
中箴 博之



問 ただ座って休むだけではない一つの居場所として、かつコミュニティを生む「まちのデザイン」として、公園・歩道・まちなかの商店街・バス停・散策コースなどに、戦略的にベンチを設置してはどうか。

答 これまでにも公園やまちかどスポットなどにベンチを設置してきたが、民間事業者や地域と協働してベンチの設置を戦略的に進めることで、快適なまち歩きや魅力の創出にもつながるベンチのあるまちづくりは一つの方策だと考える。様々な手法を参考にしながら、取組みを進めていきたい。



高山市図書館前のベンチ

賃金上昇に伴う事業者支援の考えは

創政・改革クラブ
岩垣 和彦



問 賃金上昇は、円安や物価高の影響の中で生活に苦慮する市民の実情を鑑みれば当然のことである。他方、事業者の経営も円安や原材料高の影響を大きく受ける中であって、事業経営も圧迫される環境が進んでいる。こういった中で特に小規模事業者の経営が困難になっていく可能性が大きい。市として賃金引上げをする事業者に対して優遇措置や支援を検討できないか。

答 円安や物価高騰は事業経営に大きな影響を与えており、厳しい状況の中での賃金引上げは難しいものと捉えている。世界的に経済状況が変化するなか、地方自治体ができることは限られており、現在のところ支援の考えはない。市としては、市内事業者が将来に亘って持続可能な経営を目指すために、商品やサービスの付加価値を高め利益を伸ばしていくと共に、生産性を高めていくことが重要と考えている。今後も賃金引上げのために国や関係団体等と連携して取り組む。

灼熱の夏に負けないまちづくり!!

創政・改革クラブ
倉田 博之



問 高山の夏に冷涼アドバンテージはなくなった。空調や遮熱塗装など個々の住まいのハード部分にも市は政策的にコミットすべき。

答 暑熱順化や効果的暑さ対策の情報を提供していく。

問 暑さ対策は社会全体で取り組む時代。環境省「まちなかの暑さ対策ガイドライン」を参考に、市民や観光客が涼をとれる「まちなかのクールスポット」を数多く設置すべきだ。位置を記したクールマップの配布も有効。

答 まちづくりの重要な視点。公共施設でクールシェアできるが、スポット整備なども検討が必要。マップの案は参考になりたい。



桜山風鈴まつり